

最新の研究で「アルツハイマー型認知症」が、カビが原因で発生する毒物や、水銀などの有害金属の毒性物質がリスクになることがわかってきました。発症原因がつかめない認知症は、不治の病として恐れられてきましたが、認知症の6割を占める「アルツハイマー」型は、脳内にアミロイドβ(以下、アミロイド)というたんぱく質がたまり、神経細胞が破壊されて発症すると考えられています。特効薬といえる治療薬も有りませんが、今回、米国の研究チームにより、アミロイドが蓄積する原因を取り除くことで、有害金属やカビ等の毒性物質がリスクになっていることが突き止められました。

現状の認知症の薬は、アミロイドが蓄積する原因を取り除くものではなく、患者の脳にアミロイドの蓄積が認められる場合、既存薬は、その蓄積の速度を遅くして、認知機能の低下をゆるやかにするもので、すでに蓄積が進んだ患者には効果が乏しく、ごく初期の人には効果がないのが現状でした。

アルツハイマーの原因は家庭のカビ?

窓辺・風呂場・キッチンに潜むカビ、そのカビが、重大な疾患の原因になります。



発行所
株式会社 松下孝建設
発行人 松下孝行
編集責任 齋藤恭誠

■本社
〒891-0108
鹿児島市中山1丁目14-29
TEL 099-267-7594
FAX 0120-079-089

くして、認知機能の低下をゆるやかにするもので、すでに蓄積が進んだ患者には効果が乏しく、ごく初期の人には効果がないのが現状でした。

米国のデル・ブレデセン医師の研究チームが解明。

2014年、アルツハイマー病の原因と新たな治療法についての研究論文を米国のデル・ブレデセン医師らの研究チームが発表。その内容が本年6月4日「テレビ朝日系」「林修の今でしょ!講座」で放送されたので、ご覧になった方も多いのではないのでしょうか?

デル・ブレデセン医師は、著書「アルツハイマー病・真実と終焉」で、アルツハイマー病などの神経変性疾患を30年間研究してきた結果、アミロイドが脳に蓄積する原因について「今までアミロイドは、神経細胞を壊す「悪者」だと考えられてきたが、実は、炎症や毒物などの脅威から脳が神経を守る「防御反応」であることがわかった。

アミロイドを取り除く方法ではなく、アミロイドを発生させない原因そのものを取り除かなければ、認知症の根本的な治療にはならない。アミロイドの前駆体(AβP)から、なぜアミロイドがつくられるのかを解明。その原因は「1」炎症、「2」栄養不足、「3」毒物や水銀などの毒物にさらされると、脳は防御反応でアミロイドをつくり、その毒物と結合させて神経細胞を守るうとする。しかしその防御反応でアミロイドが蓄積すると、神経細胞が破壊されてしまう。認知症予防には、脳内にアミロイドを発生させないこと。そのためには、原因となる毒物の発生源を取り除き、すでに体内にある毒物を排出させる必要がある」とし、2014年の論文で、アルツハイマー病患者の回復がブレデセン医師によって初めて報告されました。

一般向けに発売された著書は米国で半年足らずで20万部を突破するベストセラーになり、現在は、世界中から医師が研修に訪れているようです。

ブレデセン医師らのチームは生活習慣や環境を変える総合的な治療プログラムを実施したが、最後まで原因が不明だったのが、毒物が原因の患者で、患者に共通していたのは、自宅の地下室に、大量の黒カビが生えていたこと。カビが「アルツハイマー」の主要な原因であることが判明、またマグロなどからの水銀の摂取が原因となっていた事例も示されています。

毒物が原因の「アルツハイマー」は、40代後半から60代前半の若い世代の女性に多いことが特徴で、症状は記憶の喪失よりも、計算や整理、会話などへの支障が目立ち、この様なカビ毒物タイプの患者は、明らかにあっていないだけで、潜在的にはより多くの患者が存在するのではないかと考えている様です。

毒物性アルツハイマー病の特徴
「アルツハイマー病真実と終焉」より

- 65歳前にアルツハイマー病の症状が始まる
- 家族に患者がいない。又は自分よりずっと上の年齢で症状が始まった家族がいる。
- 更年期の頃に症状が表れる。
- 認知機能低下より前に鬱病を発症、もしくは同時に起こる。
- 強いストレスと睡眠不足による認知能力の低下や悪化がある。
- カビ毒や重金属に晒される機会が多い。

カビ対策の重要性と住宅内の空気質の浄化。

ブレデセン医師は「あらゆるカビがリスクになるわけではあ

りません。黒カビ、青カビなどのうち、その一部からカビ毒は発生します。同じ環境でもDNAによってカビ毒の影響を受けやすい人が、およそ4分の1いると考えられています。

カビ由来による体調の不良を感じる場合、定期的な換気は勿論ですが「HEPA(高性能)フィルター」を使った高性能の空気清浄機を出来るならば各部屋に設置することですが、それでも不調が続くときには、環境を変えるために引っ越しが必要になる場合もあります」と述べています。

空気質・温度環境保全のため「循環空調」を開発!

松下孝建設は、空気質の確保と共に、住宅の温度差を解消するために、循環空調システムを開発しています。しかも、大手ビルダーの全館空調システムのように、機械力による力ずくのシステムではなく、住宅性能を活かしたシンプルシステムによる「循環空調」システムです。給気口に帯電フィルターを施工し、室内に花粉やPM2.5等の微細な有害物質も遮断し、循環空気は、常に電子フィルター内蔵の「空気清浄機」を通して、クリーンにしてから各居室に循環させます。循環空気は綺麗な空気と共に冷暖房熱を住宅全体に巡らせて、温度差を造りません。空気質の清浄化と温度差の無い冷暖房で、ご家族の健康を守ります。

新築住宅をお考えならば、是非、松下孝建設にご相談ください。最高の温暖環境とクリーンな空気環境で皆様のご家族の健康をお守り致します。ご家族の健康を宜しく願致します。

和楽展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

美しい『和』のシンプルさを
職人の技と ところを込めて
丁寧に仕上げた 心地よい空間

鹿児島市の気候に適した高気密・高断熱をそのままに、「和」を全面にイメージしたモデルハウスです。一般家庭用のリビングサイズのエアコンで室内空間のすべてが温度差なく、一年中を快適に過ごせます。高性能樹脂サッシと24時間計画換気で、結露の発生を防止、家族の健康と住宅の高耐久性を実現しました。ZEH基準を標準クリアした外皮性能とハウス・オブ・ザ・イヤー2013で大賞を受賞した公的にも認められた施工技術の粋。外装、内装共にこれまでの松下孝建設とは少し違う趣を感じてください。

加世田展示場 公開中!

ハイブリッド・エコ・ハートQ
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

加世田展示場は将来、ZEH(ゼロ・エネルギー・ハウス)の為に太陽光パネルが取り付けられる様に大屋根構造になっています。また、新しく開発された新型暖冷房空調システムが取り付けられており、夏も冬も低温空調による省エネルギーで快適なシステムが稼働する予定です。平屋感覚の住宅ですが、屋根構造を活かして一室だけ2階に居室が設けられています。大きな開口部と大屋根の今までの加世田にはない全く新しいコンセプトで設計された住宅ですから是非、ご覧頂きたいと思えます。この展示場で新しい松下孝建設に出会えることと存じますので、ご家族の皆様でお越しください。心からお待ちしております。

薩摩川内展示場 販売受付開始!

ハイブリッド・エコ・ハートQ
「エアコン1台、全室低温空調暖冷房」

松下孝建設のHybrid eco-heart Q工法は、充填断熱と外張り断熱のW断熱工法です。外張り断熱には、遮熱シートが貼られ、住宅が蓄熱されるのを防ぎます。内側の充填断熱は外部の影響を受けにくいので、保冷材として室内の急な温度変化を防止、また、気密性が高いので、室内の涼しい空気が必要以上に外部へ逃げていくのを防いでいます。松下孝建設が標準採用している第三種換気システムは、家全体の空気を動かし、エアコン一台でも温度差の少ない、快適な室内空間を実現しています。

□住宅に関する資料等もフリーダイヤルにてご請求下さい。資料等をお送り致します。 ☎0120-079-089

主催/九州住環境研究会【ハウス・オブ・ザ・イヤー・エナジー2018 特別優秀賞・優秀企業賞 受賞記念講演】

賢い住まいづくりセミナー2019 開催

参加料無料 駐車場有り

■日時:2019年7月7日(日)
◆受付開始13:00 ◆講演開始13:00~15:30(予定)

■場所:かごしま環境未来館 多目的ホール
◆鹿児島県鹿児島市城西二丁目1-5 TEL:099-806-6666(代表)

■講演内容:『対談方式』省エネルギー時代、令和に求められる住宅づくり(仮)

講師:坂本 雄三 教授 / 東京大学名誉教授
奈良 憲道 氏 / (株)エクセルシャノン取締役営業本部長

お問い合わせ・お申し込み先 九州住環境研究会
お電話は、松下孝建設内(九州住環境研究会 事務局:池田) TEL:099-267-7594 FAX:099-269-5027